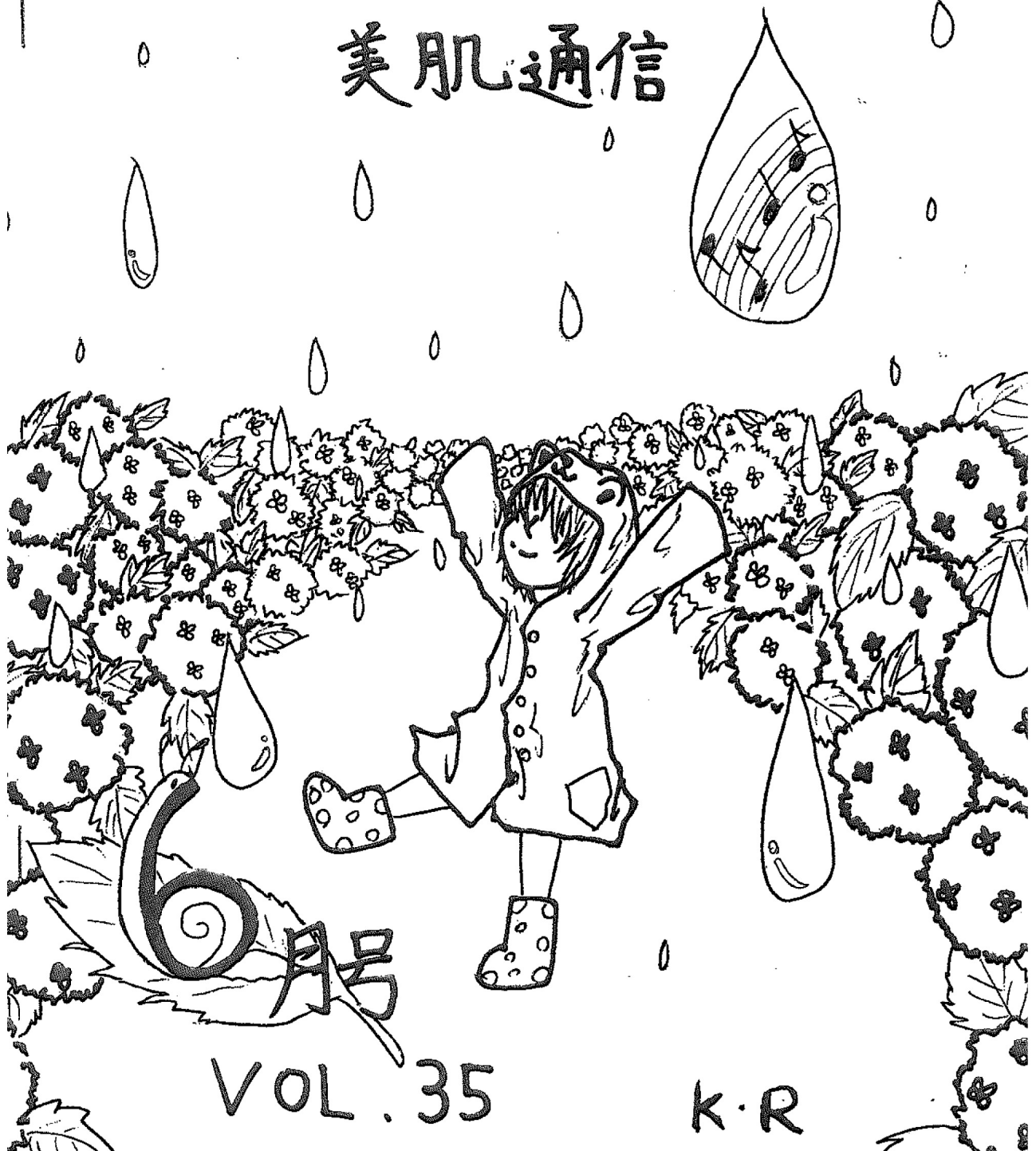


とよたち

美肌通信



雨粒の踊る中、どこかしら雨を楽しんでいるような印象を受けます。

あじさいがたくさん咲いて、雨でも明るい気分にならせて下さる今月の素敵な表紙です。とても完成度の高い表紙ですね。

動物の絵を描くことが趣味と伺いました。

学校が休みの日にはお友達と遊んだり、絵を描いたりすごしているそうです。


ホームベーカリーでのパン作りが得意な、かわいらしい女の子が描いて下さいました。

雨の日も元気に楽しくがんばれる力をありがとうございます。

院長はじめスタッフ一同心より感謝致します。



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮ふ科クリニック*

<全ては自分が決めたこと>

人は一日中常に選択の連続で生きています。

例えば何を食べるのか？何時に家を出るのか？黄色信号を進むのか止まるのか？今日は何の仕事から始めるのか？常にその局面毎に選択肢はあるはずですが。一見食べる物に選択の余地がなかったとしても、着る物が種類しかなかったとしても最終的に食べたり着たりしたのは他ならない自分自身であり、自分で決断しているのです。

少し大きい選択を考えても、大学や就職先を親や知人の勧めで選んだとしても同じことです。

この様に大小問わず私達は選択と決断を自分自身で繰り返しているのです。それにも拘らずよく私達は、自ら決断したことを忘れ不利益が生じた時や失敗した時など、己を省みず言い訳をしたり、その原因や責任を転嫁してしまふことがあります。物事が上手くいっている時も失意の時も、常に自分を省みる必要があると思います。

論語にこんな金言があります。「君子は諸を己に求む、小人は諸を人に求む」。

君子は何事も自分の責任であると考えて。これに対して小人は責任を人に押しつけてしまう。というところが訳でしょうが、論語研究家の安岡定子先生によると、「自分が選択し決断した事に対して最後に自分で責任をとれるかどうかを君子と小人を分けるポイント」だと言うのです。では何を基準に選択すれば良いのかを知りたくなります。論語にはこうも書かれています。「君子は義に喩り、小人は利に喩る」。

義とはいわば「正しいこと」、利とは「利益のこと」。

つまり簡単に言うと正しいか正しくないかを考えましょう。損か得かで決めてはいけませんというのです。

すなわち、日常の生活の中で正しいと思う選択を積み重ねる事で良い結果が出てくる。一時の利益のみに執着してしまうと、つまずき、行き詰ってしまうのではないのでしょうか。しかし失意の時でも自分を省みる事ができれば、希望の光が見えてくるのだと思います。全ては自分が決めた事の連続であり、それが積み重なって結果として表れてくるのでしよう。

誰かが言っていましたが「全ての結果には理由がある」とはその通りです。

私も日々の小さな選択を誤まることのない様よく考え決断し、その結果に対して自分を省みる様にしていきたいと考えます。

院長：刀川 捍